

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2022.03.No295

3月号

目次

事務局 report	1
・7団体との意見交換会	
・支部長・支部事務局長会議	
・令和3年表彰式	
ブロック会報告	4
青年の窓	5
道士会の動き	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

■事務局 report(1)

事務局長 伊藤隆英

行政等への協力事業

北海道と建築関連7団体との意見交換会



■開催の経緯

北海道より、建築基準法や建築士法といった関係法令の改正及び改正後の動向、営繕行政に係る説明や情報提供を受け、各団体からはそれぞれの活動や状況報告、情報の提供などを行い、それらを踏まえ、そのときの社会情勢や国の動きなどを鑑み関係する事柄について意見交換を行い、情報の共有や課題などの共通認識の醸成を図っていくこと等を目的に平成26年から毎年、本会が幹事団体として開催してきました。

第8回の令和3年度の本意見交換会は、令和3年11月15日(月)10時半から、北海道庁本庁舎9階の会議室で開催されました。

今回の出席者の北海道側は、北海道建設部住宅局長、同局建築指導課長、同課長補佐、建設部建築局長、同局計画管理課長、建築技術検査担当課長、建築整備課長、設備・環境担当課長、同課長補佐の計9名の担当者と建築関連団体側は、北海道建築士事務所協会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、北海道設備設計事務所協会、建築設備技術者協会、日本建築積算協会、北海道建築士会の7団体の各代表者の出席をいただき開催されました。

【北海道からの話題提供】

■建築行政について

最初に、畜産業を取り巻く国際経済環境の変化等に鑑み、その国際競争力の強化を図るため、畜舎等の建築等及び利用に関する計画(「畜舎建築利用計画」)の認定制度を創設し、当該認定を受けた計画に基づき

建築等及び利用される畜舎等に関する**建築基準法の特例**を定め、もって**畜産業の振興**を図ることを目的とした、**畜舎建築特例法**の基準等に係る省令案の概要の説明と二点目に北海道における建築基準法の確認申請等に係る電子化対応として、「北海道電子申請サービス」を活用して**電子申請**に対応するとともに、専用システムの導入により、電子データを管理、保管し、建築計画をインターネット回線で公開することで、一般住民による**インターネット回線による建築計画・処分概要の閲覧**が可能となる他に、職員によるモニター画面で電子データ(図面等)を**審査**、タブレット端末を用いて**現地検査**を実施するなどの説明がありました。

なお、電子化対応による効果として①申請者にとって、書類印刷、発送作業の軽減や手数料のキャッシュレス化による事務負担軽減。②郵送に係る時間が無くなり、審査期間の短縮など、電子化対応による効果が期待されるところであります。

■営繕行政について

最初に、建築局の年度別発注状況の説明があり、令和3年度の「委託」は、件数が**273件**、金額が**13億9千3百万円**。「工事」は、件数が**199件**、金額が**176億6千6百万円**となりました。

2点目の道有施設における**脱炭素化の取組み**については、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを実現する「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、知事を本部長とする対策本部を設置し、テーマ毎に関係部からなるプロジェクトチームを編成して検討を進めています。

3点目の**BIM活用の試行**は、導入に向けて、委託業務におけるメリットや課題を把握するため、令和3年度に公募型プロポーザル方式により委託契約を行った道営住宅設計業務「室蘭市道営住宅新築工事基本・実施設計(仮称)白鳥台B団地」において、BIMを活用した業務を試行しました。

4点目の**令和3年度高校生建築デザインコンクール**は、道のほか建築4団体の共催により実施されており、入選作品は、本会誌6月号に掲載されます。

最後に、**営繕工事の積算**について、ウッドショックの影響による木造価格、労災補償に必要な保険契約における法定外の保険料等の補正、型枠単価及び鉄筋加工組立単価の補正の説明でした。

■ 事務局 report(2)

事務局長 伊藤 隆 英

*誠に遅い！報告となりますが、今回、会議等がどのように開催されているのかということをお会員の皆様方に知っていただきたいという思いから掲載しましたのでよろしくご理解の程、お願い申し上げます。

令和3年 支部長・支部事務局長会議が開催されました！



▲札幌ガーデンパレス 2階「孔雀」令和3年10月28日(木)

■「支部長・支部事務局長会議」の開催

去る、令和3年10月28日(木)午後13時00分から、札幌ガーデンパレス2階「孔雀」で、支部長28名、支部事務局長19名、本部役員6名、事務局3名の計56名の出席のもと会議が開催されました。

定刻どおり、会議は始まり、最初に高野会長からご挨拶をいただきました。



▲網走支部長 塩川 颯児 様

続いて、コロナの感染拡大で「中止」となった全道大会網走大会は、網走支部が準備から足かけ4年の長きにわたり「のぼり旗」、「ベスト」を新調し、参加記念の網走刑務所刻印の入った「記念メダル」を作って、準備を進めていましたが、残念な結果となりました。この思いを込めて、塩川網走支部長様から苦渋のご挨拶を頂戴しました。(*網走刑務所刻印「記念メダル」は、出席した各支部にお配りしました。)

次に、議事1「(一社)北海道建築士会創立70周年第44回北海道建築士会全道大会(空知大会)」は、昭和27年(1952年)に任意団体として、建築士会が設立され、令和4年に設立70周年を迎えることから、「70周年」の冠を付して、開催することになります。

大会テーマは「開拓期から現代へ 大地の恵み そらち・デ・ビュー」で、空知総合振興局において空知の魅力を知ってもらう活動として、「そらち・デ・ビュー」を道内外に発信しています。そのことから本大会においても、「見て、来て、食べて、住む」=イコールデ・ビューを発信して、体験してもらう大会にしたいとなっております。

■令和4年9月2日(金)「青年サミット」は、滝川市松尾ジンギスカン。

■令和4年9月3日(土)「式典・基調講演」は、岩見沢市文化センター、「懇親会」は、岩見沢市ホテ

ルサンプラザ、「分科会」は、美瑛市、三笠市、栗山町・由仁町・長沼町JVの3地区となっております。なお、大会の詳細な案内や参加申込などを会誌「北海道建築士」の7月号に特集版として掲載します。

ここで、開催地の空知支部の仁志支部長様から、叶わなかった網走大会の想いを分かち合いながら、空知大会を成就させたい意を込めた開催地のご挨拶を頂戴しました。



▲空知支部長 仁志 紘一 様

次に、議事2「特別活動費」は、ブロック会及び支部が住民や行政と一体となって活力ある地域を目指すきっかけとなるように、新たな事業に対して助成する仕組みを令和3年から施行しています。

■令和3年の特別活動費助成決定事業は、札幌支部の「WEB版パズルでお家を考えよう」出前授業で、助成額は500,000円です。

■令和4年の特別活動費助成決定事業は、①札幌支部の「(仮)建築、景観、まちを通してまちづくり活動を総合的に捉える連続講座・プレ開催」で、助成額は105,500円です。②釧路支部の「(仮)釧路の建築70年あゆみ展」で、助成額200,000円です。③釧路支部の「(仮)空き家・空き店舗から釧路のまちなか再生を考えるシンポジウム」で、助成額は200,000円です。

次に、議事3「ネットワークセキュリティの導入に係る本部メールの取扱い」は、近年、情報漏えいをはじめとしたセキュリティリスクの対応が必須のことから、今回のネットワークセキュリティの導入に伴い、本部からのメール受信時の取扱いが一部変更になります。その変更点は、本部からの添付ファイルがあるメール送信の際、添付ファイルが全て、ZIP(圧縮)ファイルになり、送信メールとは別に、「パスワードを知らせるメール」を送信します。その添付ファイル(ZIP)を開くには、送信されてきた解凍パスワードをコピー入力して、貼り付けて下さい。

そうすると、添付ファイルを開くことができます。11月中旬から実施します。

次に、議事4「会員増強」は、新規入会者の促進を目的として、今回、初めて建築士会CPD制度活用の周知の徹底を図るため、道内の建設業協会登録者のうち、CPD制度の活用が有効と思われる建設工事に従事する業者を対象に、経営事項審査の審査基準の改正により、継続教育(CPD)が評価対象となり、最大10点の加算になり、経審の評点UPのPRを兼ねた、案内文とPRチラシを作成して対象業者の296社に送付しました。その成果として、新規入会者が4社、12名と既会員の13社、23名の計35名がCPD参加者登録を頂きました。

■「ブロック会」の開催

* 道内支部は、「4ブロック」に分けられています。

ブロック	支 部
■道 央	札幌・千歳・恵庭・北広島・石狩・小樽・後志 岩内・余市・古平・空知
■道 南	函館・桧山・室蘭・苫小牧・日高
■道 北	旭川・北空知・留萌・士別・富良野・上富良野 名寄・宗谷
■道 東	十勝・釧路・根室・中標津・網走・北見・美幌 紋別・遠軽・斜里

令和4年は、役員及び実行委員の改選期にあたることから、先の「支部長・支部事務局長会議」終了後、午後14時15分から道央ブロックは、4階の「真珠」で道南ブロックは、5階の「ハマナス」で道北ブロックは、5階の「すずらん」で道東ブロックは、2階の「孔雀」でそれぞれの「ブロック会」を開催しました。

会議の議題は、1) 役員及び実行委員会委員の改選についてであります。

まず1点目は、各ブロック会から理事候補者の推薦であります。道央ブロックからは「統括理事」1名と道南・道北・道東ブロックは「統括理事」1名と「理事」1名をそれぞれ推薦するための協議を行いました。

次に2点目は、各ブロック会から実行委員会委員の推薦であります。総務・企画委員会、事業委員会、情報委員会、まちづくり委員会、被災地応急支援委員会の5実行委員会に各ブロックから、それぞれ1名の委員の推薦のための協議を行いました。

次に、議題2) 今後の各支部の活動と今後の課題について協議されました。3) 会員増強については、会員の年代別人数と年別入会者数の資料をもとに協議されました。(※ちなみに、令和3年103人、令和2年120人、令和1年131人の新規入会を頂きました。) 4) 全道大会開催地については、ブロックの「輪番制」となっておりますので、令和8年までの開催地ブロックの確認をしました。

一般社団法人北海道建築士会 会長表彰「表彰式」を挙げる!



■ 会長表彰は、例年、全道大会の式典の中で実施していますが、網走大会が中止となったことから、今回、全道の支部長・事務局長が見守る中、盛会に表彰式が挙行されたことをご報告します。

■ 令和3年10月28日(木) 午後16時から、札幌ガーデンパレス2階「孔雀」で、永年表彰者と功績顕著表彰者の札幌支部18名、恵庭支部4名、函館支部4名、古平支部1名、苫小牧支部5名、旭川支部5名、根室支部1名、中標津支部2名、網走支部3名、北見支部2名、紋別支部1名、事務局1名の計47名のご参列を頂戴しました。

■ 例年は、代表者で授与されていましたが、今回は、一人一人、ステージに登壇して頂き、順次、高野会長から直に授与されました。

■ 受賞者代表謝辞は、網走支部の沓澤信行様から、建築士会に入会したときの懐かしい思い出を込めた心温まる、謝辞を頂戴しました。



* 最後に、遠方からのご参列を賜りまして、誠にありがとうございました。

コロナ禍での支部活動は？

道央ブロック会

統括理事 針ヶ谷 拓己 (札幌支部)



令和3年10月28日(木)、ホテル札幌ガーデンパレスにて、支部長事務局長会議が行われた後、第1回道央ブロック会を開催いたしました。主な議題はブロックからの理事・委員の推薦でしたが、その他、恒例の各支部活動報告も行われました。依然、コロナ禍における活動低迷は、各支部一番の課題に挙がりましたが、一方でコロナ禍でも活発に活動している支部もありましたので、この機会にご紹介いたします。

札幌支部では、①Webセミナー開催 ②支部だよりCPD認定教材を掲載 ③小学校出前授業用のWeb版問取パズルの開発 ④札幌市バリアフリー改修補助事業の相談業務を受託 ⑤建築士の日PRポスターを市内工事現場の仮囲いへ掲示してアピール(40現場)など、コロナ禍でもできる活動を実施しています。

後志支部では、①倶知安町新庁舎見学会 ②「リゾート地における地場材活用」をテーマに、宿泊施設やニセコ蒸留所、別荘の見学会へ参加 ③町内会連合会の見学会へ参加しコロナ感染対策を視察するなど、他団体のイベントへも積極的に参加されています。

最後に、今年の全道大会は空知大会でございます。道央ブロック会としても協力をし、大会を盛り上げていければと存じます。今年の秋は、みなさまと空知でお会いできることを楽しみにしております！

各支部の活動動向について

道北ブロック会

統括理事 中澤 光夫 (旭川支部)



会誌「北海道建築士」第295号(令和4年3月)の発刊に当たり、各支部の活動状況を記したいと思います。令和3年10月28日支部長・事務局長会議の終了後、ブロック会議を開催。留萌支部からの出席がかなわず、7支部で活発な意見交換等が行われました。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、2カ年、各支部の事業活動の自粛が続いている状況であります。この原稿作成時(令和4年1月)、道内においても新たな変異株の出現による、新型コロナウイルス感染症の「第6波」の到来が現実味を帯びて来ている状況であります。寄稿が掲載される頃、令和4年度における事業活動が、またもや自粛が懸念される場所があります。昨今の少子高齢化時代において「会員の増強」が各支部共、共通課題であります。取組みとして、幼少期から普段の生活の中、街での行動や建築に触れる機会等の「場」づくりによって、無意識的に「もの」への関心が広がり、心に残り、自己の将来の選択肢に結びつくような取組みが重要として、その価値観を共有し合いました。

最後に、平成28年3月より3期6年、当会の統括理事として微力ながら職責を務めさせて頂き、この度、退任することになり、多くの皆様方には大変お世話になりました。「様々な知識が集積する魅力ある建築士会」の更なる発展を心よりご祈念申し上げます。

沈思黙考後の活動は

道南ブロック会

統括理事 山内 一男 (函館支部)



コロナ禍で網走の全道大会の中止、広島の全国大会が会場を替えて開催、又道南の各支部活動が滞った中で地域文化活動を繋ぎ続ける意欲と新しい取組みを静かに深く考える会員の顔があった。

ネットワークを繋げ、今後の活動に生かす課題を知ったり、建築士事務所協会と合同事務所の開設に踏み出したり、他団体の声掛けに参加し一緒にまちづくり活動の可能性を感じたり、建築士受験資格要件が改正され後輩建築士誕生のサポートの検討を始めたり、行政との連携を深め空き家バンクの手伝いを更に進める等、苦悩する支部活動の会員の顔も見えていた。

新しい時代の建築士の姿を模索する良い機会と捉えたい。地域で暮らす建築士だからこそ地域のニーズを知り得る。建築士は地域に入って、建築士が得意とする活動や役割をアピールする。手を上げなければ地域の人は繋がらない。建築士の活動と役割の一つの答えがそこにある。

2年後の全道大会は道南開催の予定だ。道南支部は干支のように持ち廻って来るが、道南の全道大会は青年サミットも含め、地域の人々や若い人々を巻き込んだ、地域と関わる切欠にしたいと考えている。

第1回ブロック会議報告

道東ブロック

統括理事 庵 敏幸 (北見支部)



道東ブロック会は、例年2回の会議を実施し秋季開催は各支部のそれぞれの現状実態習得等を含めて各支部持ち回りとしています。昨年は延期となっていた全道大会がこの道東支部の網走で開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となってしまい、誠に残念で仕方ありません。コロナ関連でいけば各支部でも影響があり、会員の方が集まってしまう活動がほとんどできず、賛助会員費収入をもらわない支部もあると伺っています。さらに会員減少による会費収入の減は今後の活動を行っていくための最大の課題となり、各支部も職場での人間関係による情報を密にし、新人発掘の努力をしているとのことでした。私の会社でも若い人が入ってきたが勤務時間が終了したら親御さんが迎えにくるほどのゆとり世代になってきている。仕事が自分に少しでも合わないと思ったらすぐに辞めてしまうのが現状です。今回のブロック会議におきましては、各支部の皆様がコロナ禍における現状を把握することができ、少しでも世の中が回復することを願い、会議を終わらせていただきました。

青年委員会 未来につなぐ

青年委員会委員長
佐々木 強志 (北見支部)



改めまして、先月号でもご挨拶させて頂きましたが、令和4・5年の2年間、青年委員会委員長を拝命しました北見支部の佐々木と申します。よろしくお願いいたします。

令和4年の青年委員会は、「未来につなぐ」をキーワードに活動を進めることを第1回の青年委員会で話しました。これは、コロナ禍により一変した人々の意識や環境・生活様式、デジタル化の波やSDGsなど、様々な時代の変化に我々建築士も対応していかなければなりません。まずは、従前の青年委員会活動の状態まで戻すことを基本におき、ITなどを活用し時代の変化に対応して、次の世代にしっかりと活動を引き継いでいくためにも、「未来につなぐ」が相応しいと考えたからです。まだまだ、どのように事業が行えるのか暗中模索な状態ですが、青年委員長として何とか頑張っていきたいと思っています。

それでは、青年委員会の今年の事業予定をご紹介します。

まず、今年最初のイベントである「全道青年委員会連絡会議」が3月26日に開催予定で、今年こそ対面で開催し全道の青年委員が久しぶりに会って、以前のような活気ある青年委員会活動に戻したいと考えているところです。

この文章を書いている時点では、オミクロン株によるコロナ感染症が感染拡大し、蔓延防止等重点措置が北海道にも適用されることが決まったところです。しかし、連絡会議が開催される頃には感染が抑え込まれ、対面で開催できることを期待しています。昨年は、初めてZOOMによるオンラインで開催し、40人以上が参加して意見交換を行い、大成功でした。今年も対面開催が一番ですが、オンライン開催も視野に入れながら、並行して準備を進めているところです。この3月号が配布されるころには、対面で開催できたか、はたまた、オンライン開催になったか、



(平成31年3月の連絡会議終了後の懇親会の様子、これが最後の対面開催となりました)

結果が出ている頃だろうと思います。どちらにしても、意義のある連絡会議になるよう内容を詰めていきたいと思っています。

次に、青年委員会の事業としては5月に、「青年建築士の集い」が例年開催されてきました。

今年は、道南ブロックにおいて開催予定で、場所及び内容については、今後決定しますが、こちらのイベントも是非、2年振りに開催したいと思っています。



(平成31年5月の厚真町の仮設住宅でボランティア活動をした青年建築士の集い)

6～7月には、「建築士の日」にちなんで建築士会周知イベントを行ってきました。これも、2年間開催出来ていませんが、今年は、人数を制限や内容を変更するなど、何らかの形で建築士会をアピールする場を考えていきたいと思っています。

最後に、9月に予定しているのが「青年サミット」と「全道大会のC分科会」です。今年は、空知大会ということで、空知といえば、おいしいワインやジンギスカンなど名物がたくさんあると思います。今から個人的に楽しみにしています。

青年委員会としても、例年どおり全道大会の前日には、「青年サミット」を開催し、会員同士の親睦を深めて頂きたいと思っています。また、全道大会のC分科会についても、青年委員会が担当となりますので、何か皆さんに興味を持って頂ける内容を考え、準備していきたいと思っています。

今年1年間は、このような事業を青年委員会として行っていく予定ですが、その都度、内容などが決まりましたら、会誌やメール等でお知らせしていきたいと思っていますので、会員の皆様も是非ご参加下さいようお願いいたします。

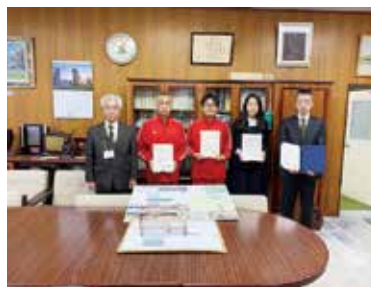
最後になりましたが、青年委員長として建築士会と会員の皆様のために尽力していきますので、よろしくお願いいたします。

(一社)北海道建築士会 令和4・5年 実行委員会名簿

委員会 (人数)	総務・企画委員会 (7名)	事業委員会 (7名)	情報委員会 (8名)	まちづくり委員会 (10名)	被災地応急支援委員会 (9名)	青年委員会 (10名)
担当理事 委員長	西岡 誠 (札幌)	伊藤 隆英 (恵庭)	伊藤 隆英 (恵庭)	針ヶ谷拓己 (札幌)	牛田 健一 (札幌)	針ヶ谷拓己 (札幌)
副委員長	高橋 幸二 (日高)	丹波 泰哉 (千歳)	森 勝利 (日高)	清水 浩史 (札幌)	金谷 祐 (小樽)	佐々木強志 (北見)
委員	菊地 義紀 (札幌) 原 一彦 (旭川)	林 昌宏 (小樽) 西田 康人 (札幌)	前田 繁 (釧路) 立花智亜喜 (網走)	山田 直登 (空知) 松本 純 (札幌)	瀬尾 正宣 (後志) 土田 浩貴 (上富良野) 小町 美穂 (札幌)	亀田 誠 (日高) 吉田 徹 (札幌)
委員	中澤 篤 (函館) 熊谷 智 (苫小牧) 萩川 正人 (旭川) 伊井 崇史 (中標津)	川島 亮 (札幌) 池 均 (日高) 中落 直樹 (北空知) 山田 大樹 (十勝)	今村 敏彦 (札幌) 境谷 香奈 (恵庭) 角張 隆昌 (旭川) 村山 賢司 (中標津) 徳留 裕敏 (室蘭)	山崎 景子 (釧路) 永井 雅規 (札幌) 酒井 一誠 (石狩) 朝倉 友和 (函館) 佐藤 将吾 (士別) 鈴木 光彦 (紋別) 佐々木 司 (旭川)	齊藤 輝治 (十勝) 屋仲めぐみ (恵庭) 谷内 正則 (函館) 齊藤 勝哉 (旭川) 小林 大介 (札幌)	近藤 真人 (小樽) 宮沢 勝 (北空知) 石川 俊樹 (網走) 浅田 康詞 (富良野) 鳩澤 準一 (室蘭) 渡邊 園絵 (空知) 加藤 寛基 (釧路)
委員会 (人数)	女性委員会 (10名)	会員増強特別委員会 (10名)	ヘリテージマネージャー特別委員会 (8名)	BIM推進特別委員会 (9名)	地域貢献活動センター委員会 (4名)	
担当理事 委員長	牛田 健一 (札幌)	-	鈴木 基伸 (札幌)	西岡 誠 (札幌)	-	
副委員長	後藤 朋恵 (札幌) 鈴木 彩恵 (札幌) 岩崎 美乃 (函館)	高野 壽世 (札幌)	川原 昌彦 (札幌) 関川 修司 (北広島)	大門 浩之 (札幌) 菊地 義紀 (札幌) 梅原 博太 (札幌)	鈴木 徹 (十勝)	
委員	中田富知子 (旭川) 新海 直美 (札幌) 吉田 幸恵 (室蘭) 齊藤 裕美 (旭川) 須藤志津子 (釧路) 児玉 恵美 (札幌) 加藤 幸恵 (美幌)	鈴木 基伸 (札幌) 佐藤 芳則 (苫小牧) 針ヶ谷拓己 (札幌) 山内 一男 (函館) 庵 敏幸 (北見) 中澤 光夫 (旭川) 高橋 幸二 (日高) 佐々木強志 (北見) 後藤 朋恵 (札幌)	杉山 友和 (札幌) 安達あけみ (札幌) 往田 協子 (札幌) 中嶋 奈弓 (札幌) 高橋 真美 (北見) 羽深 久夫 (札幌)	針ヶ谷拓己 (札幌) 井上 勝己 (札幌) 西岡 誠 (札幌) 牛田 健一 (札幌) 馬場 将考 (札幌) 原 一彦 (旭川)	清水 浩史 (札幌) 佐々木強志 (北見) 後藤 朋恵 (札幌)	

第12回高校生の「建築甲子園」
北海道苫小牧工業高等学校 (定時制課程) 奨励賞を受賞

日本建築士会連合会が主催する第12回高校生の「建築甲子園」にて、北海道予選を突破しました代表校「北海道苫小牧工業高等学校 (定時制課程)」は、みごと奨励賞を受賞いたしました。1月21日に同校で行われました賞状授与式に佐藤副会長が、選手 (生徒) へ賞状を手渡しこれからの活躍にエールを送りました。



記念撮影



応募作品

令和4年 (一社)北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 平成30年以降に竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員 (応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります)
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

令和4年5月20日 (金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面 (平面図・断面図・配置図等) 及び完成写真 (内・外装) 等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。(応募作品は返却しません)

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.301」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

小樽支部

コロナ禍以前の活動報告

青年委員長

佐々木 克幸



本年度は新型コロナウイルスの影響で未だに建築士会の活動ができておりません。多く活動していますが大変だと感じることがありますが、活動できないと寂しいと思う今日この頃です。1日も早く終息してくれることを願います。

今回はいままでの小樽支部の活動をご紹介します。

はじめに今年で22年連続参加している「小樽雪あかりの路」です。

主に旧手宮線会場という区画で屋台の運営と通路に雪のオブジェを作成・設置し会場を装飾しております。オブジェは雪をバケツに入れ模ったバケツキャンドルやさらに工夫を凝らしたフクロウキャンドル、花の形の大きなオブジェを作って幻想的な光の通路を演出しております。

私たちが担当している旧手宮線会場は皆様からの評判がよく毎年見に来てくれる観光客の方もいます。しかし、元々支部の会員がボランティアで参加しているため

年々参加ができる人数が減ってきているのが実状です。

昨年から少し規模を小さくし、会場は前回の半分、屋台はそのままの大きさで開催しました。会員皆様にはご苦労おかけしました。この場をお借りして感謝申し上げます。

雪あかりに関してだけではないですが、ボランティアとしての人手不足は年々顕著に表れております。今後の「雪あかりの路」への参加の仕方についても検討が必要だと感じました。

次に7月1日の「建築士の日」の事業として小樽市内の幼稚園・保育園にベンチを寄贈し、園児たちと一緒にペンキを塗るというイベントを行っております。

ベンチは小樽市内の家具屋さんで製作してもらい、そのベンチを現地に運んで園児と一緒に塗装します。

園児の楽しそうな笑顔を見ると、建築の楽しさを知り、将来この子たちの中から建築の仕事に興味を持ち、さらには建築士を目指す子が出てくれたらと思います。

最後に夏にはサマーパーティーを行いました。小樽の歴史的建造

物の観光物産プラザ(運河プラザ)で行うビール飲み放題のパーティーです。イベントとしては抽選大会や地元のバンドによるステージで地元の皆様と楽しく盛り上がるイベントです。8月のお盆明けの忙しい時にもかかわらず、たくさんの方に参加いただきました。今年も大盛況に終わりました。小樽の短い夏を堪能できて、支部の懇親も深まり、よかったですと思います。今年が開催できるかわかりませんが、今後も継続していきたいと思っています。

数々のイベントに参加し全道各地の建築士会のメンバーと話す機会が増える中、決まって出る話題が、建築士会に入会を希望する若者が不足しているということです。

これはどの支部にも共通した課題であり、永遠のテーマとなっています。

小樽支部も例外ではなく、建築士を取得する若者・建築に従事する若者が激減していると思われます。そのため、青年委員会として活動を定期的に行い、参加してよかった!!楽しかった!!と思えるイベントづくりに今後も励んでいきたいと思っています。

後志支部

ニセコ町役場新庁舎

副支部長

黒瀧 敏雄



ニセコ町の新庁舎建設の議論は東日本大震災が発生した2011年から始まり、翌年から基本構想を2年かけて新築か耐震補強をすべきか検討してきました。その後、2016年の熊本地震で耐震化した庁舎が損壊する被害が起こり、国が2020年度までに庁舎を新築した市町村に対し有利な財源を創設したこと、町は新庁舎建設の意向を固め2017年基本設計、2018年実施設計、2019年から2ヵ年にわたり建設工事を実施し、2021年5月に新庁舎を開庁しました。新庁舎の6つの特徴として、①防災の拠点をつくる→災害用資材を収納する物品庫や自家発電機のほか、熱と電気を作るLPGコージェネレーションを導入②環境に配慮した施設をつくる→トリプルサッシや断熱材の厚みを235mmとするなど高気密・高断熱の導入により、躯体外皮性能0.18W/m²・Kを実現③子どもの利用の視点に立った施設をつくる→キッズコーナーや授乳

室、子ども用の椅子などを設置④町民に開かれた拠点をつくる→待合スペースには、町内木工作家による椅子やテーブルを設置、3階のフリースペースは、全長40mのパノラマウィンドウから羊蹄山やニセコアンヌプリが眺望でき、誰でも気軽に利用できるよう配慮⑤

自然との調和を大切に施設をつくる→自然通風しやすいレイアウトにしたほか、高い位置や両サイドから自然採光を取り込む設計⑥ニセコらしい整備手法をつくる→まちづくり町民講座やワークショップなどで町民との話し合いを重ねながら整備を行ったほか、外壁には、幼児センターの子どもたちが建設敷地内で採取した土を混ぜて作ったレンガを使用しました。このように新庁舎は、

災害時の防災拠点であるだけでなく、町民や来訪される人にとって利用しやすい、親しみやすい建物にしたいと考え、くつろげる空間になるようにこだわり建設しました。今後は、多くの方々が集い交流を深める庁舎となることでしょう。



道士会の動き

道本部の主な会議報告（2月）

- ◆第1回BIM推進特別委員会（web併用）
（開催日）2日（水）
1）今年度の活動
2）その他
- ◆第1回まちづくり委員会 web会議
（開催日）8日（火）
（議題）1）令和4年事業計画
2）2022年北海道建築士会まちづくり会議
3）その他
- ◆第1回女性委員会（web併用）
（開催日）19日（土）
（議題）1）道士会 令和3年予算執行報告
令和4年事業計画及び予算要求
2）全道大会（空知）
3）全道女性建築士の集い
4）会誌「北海道建築士」（広報Hokkaido）
5）ブロック活動
6）その他
- ◆第1回総務・企画委員会
（開催日）24日（木）
（議題）1）令和4年第1回理事会議案
2）その他

本部の主な行事予定（3月）

- 1日（火） 四役会議
- 4日（金） 第1回理事会
- 5日（土） 被災地応急支援委員会（web併用）
- 12日（土） まちづくり会議（web開催）
- 19日（土） 第1回事業委員会
- 26日（土） 令和4年全道青年連絡会議

関係機関等会議参加予定（3月）

- 9日（水） 役員候補者選考委員会（東京）
- 17日（木） 日本建築士会連合会理事会（東京）
- 25日（金） 専攻建築士認定評議会（東京）
上記 高野会長

講習会・セミナーのご案内（3月）

監理技術者講習

17日（木） 札幌市

建築士定期講習

8日（火） 北斗市
16日（水） 札幌市

編集後記

コロナ（オミクロン）により、北海道におけるまん延防止等重点措置が2/20までとなっておりますが、本誌が発行される際には緩和に向かっていくこと願っております。昨年は全道大会の中止、対面による支部事業がほぼ中止とせざるを得ない状況により、残念な一年になりましたが、今年は全道大会を始め、各事業の記事を掲載出来ること切に願っております。

情報委員会副委員長 前田 繁（釧路支部）

CPD認定プログラム（2月認定）

◆2022年 北海道建築士会まちづくり会議（オンライン）

《日程及び会場》 3月12日（土） 14：00～17：00
《単位数》 3単位
《問合せ先》 （一社）北海道建築士会
TEL 011-251-6076

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



- 視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 3月パスワード：Hid017

販売のご案内

令和4年建築基準法講習会が中止となりました。講習会で使用を予定しておりました、「実務に役立つ建築法規解説2021」（2022年1月発刊）を販売しております。



実務に役立つ 建築法規解説2021

編集＝全道建築行政連絡会議

- ◎A5判
- ◎定価：3,700円（税別）

*在庫がなくなり次第販売終了 購入方法 下記のいずれかの方法でご購入下さい。

- 1）北海道建築士会本部窓口にて現金で購入
- 2）北海道建築士会ホームページのオンラインショップまたはFAXにてお申込みにて購入（申込用紙は北海道建築士会ホームページよりダウンロードできます。）

*一般の書店では販売していません

「第1章新しい動き」を中心とするWEB講習を3月上旬から期間限定でオンデマンドで配信いたします。

情報委員会委員長／森 勝利
副委員長／前田 繁・立花智亜喜
委員／今村 敏彦・境谷 香奈・角張 隆昌
村山 賢司・徳留 裕敏

北海道建築士 No.295号

印刷 令和4年2月／発行 令和4年3月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL https://www.h-ab.com/

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番